

世帯票の記入のしかた



面積の単位換算早見表

【畝・反・町→㎡←坪】 1反=991.736㎡=300坪(1反=10畝=0.1町)

畝	反	町	㎡	坪
0.1	—	—	10	3
0.5	—	—	50	15
1.0	0.1	—	99	30
5.0	0.5	—	496	150
10.0	1.0	0.1	992	300
20.0	2.0	0.2	1,984	600
30.0	3.0	0.3	2,975	900
40.0	4.0	0.4	3,967	1,200
50.0	5.0	0.5	4,959	1,500
60.0	6.0	0.6	5,950	1,800
70.0	7.0	0.7	6,942	2,100
80.0	8.0	0.8	7,934	2,400
90.0	9.0	0.9	8,926	2,700
100.0	10.0	1.0	9,917	3,000

【a→㎡←ha】 1a=100㎡ 1ha=10,000㎡(1ha=100a)

a (アール)	㎡	ha (ヘクタール)
0.1	10	—
0.5	50	—
1.0	100	—
5.0	500	—
10.0	1,000	0.1
20.0	2,000	0.2
30.0	3,000	0.3
40.0	4,000	0.4
50.0	5,000	0.5
60.0	6,000	0.6
70.0	7,000	0.7
80.0	8,000	0.8
90.0	9,000	0.9
100.0	10,000	1.0

【畳→㎡←坪】 1畳=1.65289㎡=0.5坪

畳	㎡	坪
0.5	1	0.25
1.0	2	0.50
2.0	3	1.00
3.0	5	1.50
4.0	7	2.00
4.5	7	2.25
5.0	8	2.50
6.0	10	3.00
7.0	12	3.50
8.0	13	4.00
9.0	15	4.50
10.0	17	5.00
15.0	25	7.50
20.0	33	10.00
30.0	50	15.00
40.0	66	20.00
50.0	83	25.00
100.0	165	50.00

■ 世帯員メモ欄

	1枚目				2枚目	
	1人目の世帯員	2人目の世帯員	3人目の世帯員	4人目の世帯員	5人目の世帯員	6人目の世帯員
氏名						

世帯票の何番目に誰のことを記入したかをメモしておいてください。

調査票に記入もれなどがあった場合は、確認のため市区町村等からおたずねしますので、その際にご活用ください。

調査世帯の皆様には、お手数をおかけしますが、
皆様の暮らしに関わる統計調査であることをご理解のうえ、
調査票へのご記入をお願いいたします。
調査票にご記入いただく前に、本書をよくお読みください。

インターネットにより回答する場合は、
『インターネット回答システム利用ガイド』をあわせてご覧ください。

調査票の記入内容は、
統計をつくるためだけに使うもので、
その他の目的に使われることはありません。



「統計法」により、調査員をはじめ調査関係者が調査により
知り得た事項を他に漏らすこと、調査票を徴税など統計をつくる
目的以外に使用することは固く禁じられています。

- 記入いただいた内容についての秘密の保護には万全を期していますので、ありのままを記入していただくようお願いいたします。
- 記入が終わりましたら、もう一度内容を確認めたうえで、提出してください。
- 調査票に記入もれなどがあった場合は、確認のため市区町村等からおたずねすることがあります。

〈調査員への提出を希望した場合の訪問予定日〉

月 日 ()

午前

午後

時 分ごろ

調査票の提出方法についてご不明な点がある場合や調査票の追加が必要な場合は、お手数ですが下記までご連絡をお願いします。

〈連絡先〉

電話番号

()

調査の内容、調査票の記入のしかたなどについてわからない点がございましたら、調査員が訪問した際にご質問いただくか、右記のコールセンターにご連絡ください。

総務省統計局全国家計構造調査コールセンター

おかけ間違いのないようにご注意ください。

☎ 0570-02-7272

受付時間：午前8時～午後9時（土・日・祝日もご利用になれます）

*IP電話などからは、03-6628-7882におかけください。（この場合、所定の通話料金がかかります。）

*ナビダイヤルの通話料金は、固定電話・携帯電話いずれも所定の通話料金となります。

調査票の記入にあたって

- 数字で記入する欄は、「数字の記入例」のように、の枠内に1文字ずつ、**右詰**で記入してください。
- 文字で記入する欄は、「文字の記入例」のように、の枠内に1文字ずつ、**左詰**で記入してください。
- 記入には黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。ボールペンや万年筆は黒色でも使用しないでください。
- 世帯員が5人以上いる場合、現住居以外の住宅又は土地を4か所以上所有している場合は、必要とする枚数の世帯票をもらってください。
- 枠からはみ出したり、小さすぎたりしないように注意し、はっきりと記入してください。

記入箇所について

- 世帯票の「Ⅱ 世帯員について」は**世帯員**について記入し、「Ⅲ 3か月以上不在の家族について」は**世帯員以外の家族**について記入してください。
- 単身赴任や学業のため寮生活をしている家族であっても、週末には帰宅するなど、週に1～2回定期的に帰宅している場合は、「3か月以上不在の家族」とはせず、「Ⅱ 世帯員について」に記入してください。

世帯の定義

同居		非同居	
① 世帯・世帯員		② 世帯員以外の家族	
※家族同様に生活している親戚、住み込みの家事使用人及び住み込みの営業上の使用人も含みます。		※単身赴任、出稼ぎ、遊学中、長期入院、介護施設入所など	
③ 別世帯		記入不要	
※同居していても、食費などの生活費が分かれている場合は、別生計となります。			

Ⅰ 世帯の人数について	①	4～6ページへ 仕事の種類の記入のしかたは 10、11ページへ
Ⅱ 世帯員について	①	
Ⅲ 3か月以上不在の家族について	②	7ページへ
Ⅳ 単身世帯について	①	
Ⅴ 現住居に関する事項について	①	8、9ページへ
Ⅵ 現在住んでいる住居以外の住宅及び土地について	①	
Ⅶ 毎月の家賃支払額、 毎月の住宅ローンの返済額について	①	10ページへ

〈○の記入例〉



〈数字の記入例〉



〈年の記入例〉

該当する元号又は西暦を選択したうえで、年を記入してください。



〈文字の記入例〉

この箇所は、丸囲みをしないでください。

住所記入欄の記入例: 都道府県(神奈川県)、市郡(横浜市)、区町村(緑区)

世帯の人数について

ふだん一緒にお住まいで、生計を共にしている方の人数について記入してください。

I 世帯の人数について

ふだん一緒にお住まいで、生計を共にしている方(世帯員)は、あなたを含めて何人ですか。

3人

(1) 世帯主との続き柄

- 3月以上不在の家族がいる場合は、その人について(1)～(9)欄には記入せず、「Ⅲ 3ヶ月以上不在の家族について」に記入してください。
- 家計上の主たる収入を得ている人を世帯主とし、1人目に記入してください。

Q 住民票の世帯主は私ですが、どのように記入すればよいの？

A 住民票の続柄などの名目上の世帯主ではなく、「家計上の主たる収入を得ている人」を世帯主としてください。

(3) 配偶者の有無

届出の有無に関係なく記入してください。

II 世帯員について

[一緒に住んでいる世帯員について(1)から(9)欄に記入してください]

(1) 男女の別及び世帯主との続き柄	○ 男 ○ 女
3か月以上不在の家族はⅢへ	世帯主 世帯主の配偶者 子 世帯主の父母
● 世帯主は、名目上の世帯主ではなく、一緒に住んでいて、かつ「家計上の主たる収入を得ている人」としてしてください。 ● 「家計上の主たる収入を得ている人」が3か月以上不在の場合は、世帯員の中から代表者を選び、世帯主としてください。	世帯主の配偶者の父 母 孫 祖父母 兄弟 姉妹 他の親族
(2) 満年齢	34歳
(3) 配偶者の有無	● 配偶者あり ○ 配偶者なし
(4) 就業・非就業の別	就 業 非 就 業
● 「労働者派遣事業所の派遣社員」とは、労働者派遣法に基づいて派遣されている人をいいます。 ● 上記以外の派遣されている人(パートの派遣店員など)は、派遣元の事業所における呼称について記入してください。 ● 契約社員、嘱託などは「その他」に記入してください。	雇用されている人 左記以外の人 ○ 正規の職員・従業員 ○ 会社などの役員 ● パート・アルバイト ○ 自営業主 ○ 労働者派遣事業所の派遣社員 ○ 家族従業者 ○ その他 ○ 内 職 ○ 仕事を探している ○ 仕事を探していない

(4) 就業・非就業の別

- ふだんの就業状態について記入してください。育児休業や病気休暇などで休業中の人は「就業」としてください。
- 「パート・アルバイト」とは、就業の時間や日数に関係なく、勤め先で「パート」、「アルバイト」又はそれらに近い名称で呼ばれている人をいいます。
- 「家族従業者」とは、自営業主の家族で、その自営業主の営む事業を無給で手伝っている人をいいます。給料・賃金をもらっている方は、家族であっても、「雇用されている人」から選んでください。
- 「仕事を探している」とは、現在仕事がない人であって、かつ求職活動*をしている人、事業を始めるための資金、資材、設備などの準備・調達をしている人をいいます。

*求職活動…職業安定所(ハローワーク)に申し込む、新聞や情報誌などの求人広告に応募する、労働者派遣事業所に登録する、仕事の紹介を人に頼むなど

(5) ふだんの1週間の就業時間

- 「(4) 就業・非就業の別」で「就業」としている人について記入してください。
- 就業規則などで定められている就業時間に関係なく、残業時間も含めた普段の1週間の実労働時間について記入してください。
- 副業・内職・家業の手伝い・臨時の仕事・アルバイトなどをした時間もすべて含めます。ただし、自分の家の家事・無報酬の奉仕作業(ボランティア)などをした時間は含めません。

(6) 教育

- 学習塾・洋裁教室・料理教室・英会話教室や職員・社員の研修所、訓練所などは、ここでいう学校には含めません。
- 高等学校、短期大学、大学、大学院については、定時制やこれらの学校の卒業資格が得られる通信教育による課程も含めます。
- 外国の学校については、修業年限等により、それに相当する学校の区分に記入します。
- 認定こども園は、幼稚園と保育園両方の機能を併せ持つ、就学前の子どもに教育と保育を一体的に提供する施設をいいます。
※ 「○○幼稚園」や「●●保育園」という名称であっても、幼稚園と保育園両方の機能がある場合は、「認定こども園」とします。

(5) ふだんの1週間の就業時間

● ふだん残業や副業をしている場合は、それを含めた1週間の合計について記入してください。

● 15時間未満	○ 40～48時間
○ 15～29時間	○ 49～59時間
○ 30～34時間	○ 60時間以上
○ 35～39時間	○ 決まっていない
	○ 休業中

(6) 教育

● 学校に在学しているかどうかについて記入したうえで矢印に従って記入してください。

● 在学中の人はその学校について、卒業の人は最終卒業学校(中途退学した人はその前の卒業学校)について、未就学の人はその入園などについて記入してください。

● 専修学校・各種学校に在学中又は卒業の人は『世帯員の記入のしかた』を参照して記入してください。

在学中	卒業	未就学
○ 小学・中学	○ 短大・高専・旧制高	○ 大学
○ 高校・旧制中	○ 大学院	
○ 専門学校(修業年限)		
1年以上2年未満	2年以上4年未満	4年以上
○ 保育園・保育所	○ 幼稚園	○ 認定こども園
		○ 乳児・その他

Q 義務教育学校や中等教育学校などの一貫校に通っている場合はどう記入するの？

A 以下のとおり記入してください。
義務教育学校…「小学・中学」
中等教育学校の前期課程…「小学・中学」
中等教育学校の後期課程…「高校・旧中」

専修学校・各種学校について

専修学校・各種学校については、右表に該当するものがある場合は、それに対応する選択肢に記入してください。

なお、右表に該当しない場合は、直前の最終卒業学校(中途退学した人はその直前の卒業学校)について記入してください。

専修学校・各種学校		選択肢
専修学校 専門課程 (専門学校)	高卒を入学資格とするもの 修業年限3年の高等専修学校卒を 入学資格とするもの	専門学校 (当てはまる修業年限も記入 在学は現在の学年ではなく 修業年限を記入)
専修学校 高等課程 (高等専修学校)	中学卒を入学資格とする修業年限3年以上のもの	高校・旧制中
各種学校	高卒を入学資格とする修業年限2年以上のもの	短大・高専・旧制高
	中学卒を入学資格とする修業年限3年以上のもの	高校・旧制中

(7)と(8)は、**世帯主の仕事について記入してください。**
非就業の場合は「(9)要介護・要支援認定の状況」へ

(7)仕事の種類
 ・世帯主が実際にしているおこな仕事の内容を、『世帯票の記入のしかた』を参考に詳しく記入してください。

美容師

(8)勤め先の企業区分及び規模
 ・労働者派遣事業所の派遣社員の方は、派遣先となる勤め先の状況を記入してください。

①企業区分	● 民間	○ 自営	○ 官公
②企業規模	● 4人以下	○ 100~299人	○ 300~499人
	○ 5~9人	○ 500~999人	○ 1000人以上
	○ 10~29人		
	○ 30~99人		

世帯主の仕事について

(7)欄と(8)欄は世帯主の仕事について記入してください。なお、世帯主が仕事をしていない(非就業)場合は、記入は不要です。

(7)欄の記入のしかたは、10~11ページをご覧ください。

仕事が2つ以上ある場合はどれを記入するの?

A 下の表をもとに記入してください。

勤め先が2か所以上ある場合	就業時間の長い方を記入
勤め先のほかに自分でも事業を営んでいる場合	勤め先の方を記入
自営事業で2つ以上の事業を営んでいる場合	主な事業について記入

勤め先又は自営事業 - (8)勤め先の企業区分及び規模

勤め先の企業区分及び規模については、下の表をもとに記入してください。

勤め先又は自営事業	①企業区分	②企業規模
民間の会社、団体、組合、個人商店に勤めている人	民間	勤め先企業全体(支店、工場を含む)の雇用者数(正規の職員以外を含む)
公社、日本郵政、独立行政法人(公務員の身分が付与されていない場合)、在日外国政府施設に勤めている人		
事業を営んでいる人	自営	通勤、住み込みを含む営業上の使用人数(事業主、無給の家族従業者、家事使用人を除く)
官公庁、独立行政法人(公務員の身分が付与されている場合)、国営・公営の事業所に勤めている人	官公	

内職を本業としている人についてはどのように記入するの?

A 内職を本業としている人は、「(8)勤め先の企業区分及び規模」について、ご記入は不要です。

(9)要介護・要支援認定の状況

(9)要介護・要支援認定の状況
 ・「付」に記入した世帯員の中に、「要介護認定」または「要支援認定」を受けている人がいるかについて記入してください。
 ・「要介護認定を受けている人」、「要支援認定を受けている人」がどちらもある場合は、両方に記入してください。

○ 認定を受けている人はいない

○ 要支援認定を受けている人がいる

● 要介護認定を受けている人がいる

居宅サービス・デイサービス・短期入所(ショートステイ)について

○ 利用している人がいる

○ 利用していない人はいない

● 介護保険制度による要介護・要支援認定を受けていない方は、認定を受けていないとしてください。

● 現在、申請中で認定をまだ受けていない方は、認定を受けていないとしてください。

● 居宅サービス・デイサービス・短期入所(ショートステイ)の利用については、要介護・要支援認定を受けている方がいる場合のみ記入してください。また、要支援・要介護認定を受けている世帯員の中に、居宅サービス等を利用している人と利用していない人の両方がいる場合は、「利用している人がいる」に記入してください。

III 3か月以上不在の家族について

III 3か月以上不在の家族について

(10)家計を主に支える人
 ・家計上の主たる収入を得ている人で、3か月以上不在の人がいる場合に記入してください。

(11)その他の人
 ・(10)以外の人で、家計の一部又は全部をこの世帯の収入に頼っている人のうち、3か月以上不在の家族がいる場合に記入してください。

不在理由

● 単身赴任

○ 入院

○ 出稼ぎ

○ その他

世帯主の配偶者

子

子の配偶者

世帯主の父母

世帯主の配偶者の父

世帯主の配偶者の母

孫

祖父母

兄弟姉妹

他の親族

入院 → 人

介護保険施設入所 → 人

他の介護施設入所 → 人

学業 → 人

その他 → 人

単身赴任と出稼ぎについて

● 就労のために長期間不在となっている場合は、単身赴任又は出稼ぎに記入してください。

単身赴任… 会社に雇用されており、その会社等の命令により転任・長期出張・職務上の研修などで長期間不在となっている場合をいいます。なお、会社の社長・取締役、理事など会社、団体の役員も含めます。

出稼ぎ… 上記「単身赴任」以外で、就労のために長期間不在となっている場合をいいます。

(11)その他の人

● (10)以外の人で、家計の一部又は全部をこの世帯の収入に頼っている人のうち、3ヶ月以上不在の家族がいる場合に記入してください。複数人いる場合には、それぞれ該当する内容を選択のうえ、それらの人数を記入してください。

介護施設について

「介護保険施設」及び「他の介護施設」に該当する施設は右の表をもとに記入してください。

※いわゆる「高齢者住まい法」に基づき、「サービス付き高齢者向け住宅(特定施設指定)」として登録された住宅で、住宅を提供している事業者が住宅と介護保険サービスを一体で提供している「特定施設」をいいます。

介護保険施設	・介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) ・介護老人保健施設 ・介護医療院
他の介護施設	・介護付有料老人ホーム ・養護老人ホーム ・軽費老人ホーム ・ケアハウス ・認知症高齢者グループホーム ・「サービス付き高齢者向け住宅(特定施設指定)」※など

(12)単身世帯の形態

IV 単身世帯について

(12)単身世帯の形態
 あなたが単身世帯である場合のみ記入してください。

○ 単身赴任・出稼ぎ

○ その他

「その他」には何が該当するの?

A 単身赴任・出稼ぎ以外の一人暮らしが該当します。夫の単身赴任による妻の一人暮らしなども該当します。

(13) 住居の構造

- 2つ以上の構造を組み合わせた住居の場合は、延べ床面積の広い方の構造を記入してください。

(14) 住居の延べ床面積

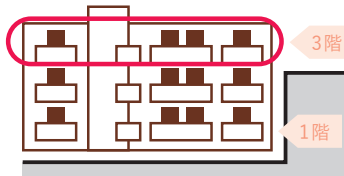
- アパートやマンションなどの共同住宅の場合は、共用部分は含めず、専用部分のみの面積を記入してください。
- 店舗などの併用住宅の場合は、業務用部分を含めた面積を記入してください。
- 住居に附属する離れの面積も含めてください。
- 間貸ししている部分がある場合は、その分を含めた面積を記入してください。
- 間借りしている場合は、借りている部分の面積を記入してください。
- 1住宅に2世帯以上が住んでいるような場合は、1世帯当たりの居住面積を記入してください。
- 寮・寄宿舎等に住んでいる単身世帯で、同室者がいる場合は、1人当たりの居住面積を記入してください。

住居の延べ床面積－うち業務用面積

- 店舗などの併用住宅の場合に、業務用部分のみの面積を記入してください。

(15) 住居の建て方－共同住宅の階数について

- 中2階などは2階としてください。
- 土地に傾斜又は段差がある場合は、土地が低い方を1階と数えてください。



(16) 住居の所有関係－都市再生機構(UR)の賃貸住宅

- 都市再生機構(UR)の賃貸住宅とは、いわゆる旧公団(住宅・都市整備公団、都市基盤整備公団)の賃貸住宅をいいます。

(20) 現住居以外の住宅

- 共同住宅の一部を所有している場合、「住宅の延べ床面積」には建物全体の面積ではなく、専用部分のみの面積を記入してください。ただし、建物全体を所有している場合は、棟単位の住宅の総延べ床面積を記入してください。2棟以上所有している場合は、それぞれの棟について別々に記入してください。
- 昭和50年以前(西暦1975年以前)に建築した場合は、年次の記入は不要です。

V 現住居に関する事項について

(13) 住居の構造

○ 木造(防火木造を除く)
○ 防火木造
● 鉄骨・鉄筋コンクリート造
○ その他(ブロック造、レンガ造など)

(14) 住居の延べ床面積

・坪を㎡に換算するときは3.3倍してください。

千 百 + -
: : : 7 1 m²

うち業務用面積

千 百 + -
: : : : m²

(15) 住居の建て方

○ 一戸建
● 共同住宅(アパート、マンションなど)
○ その他(長屋建・テラスハウスを含む)

3 階建の 3 階に居住

(16) 住居の所有関係

・親の名義の家や子の名義の家に、家賃を払わないで住んでいる場合も「持ち家」に記入してください。

● 持ち家
○ 民営の賃貸住宅(借間を含む)
○ 都道府県・市区町村営賃貸住宅
● 都市再生機構・公社等の賃貸住宅
○ 社宅・公務員住宅(借上げの社宅を含む)
○ 寮・寄宿舎

VI 現在住んでいる住居以外の住宅及び土地について

現居以外の住宅又は土地について
(20)から(21)欄に記入してください

(20) 現住居以外の住宅をあなた又はあなたの家族名義で所有していますか(法人名義は除きます)

● 所有している ○ 所有していない

所在地	建築時期	住宅の延べ床面積	住宅の構造
1 東京都 新宿区	昭和50年以前(1975年以前) 平成 令和 西暦 2024年	千 百 + - : : : 1 7 5 m ²	木造 防火木造を除く 鉄骨・鉄筋 コンクリート造 その他
2 北海道 帯広市	昭和50年以前(1975年以前) 昭和 平成 令和 西暦 2024年	千 百 + - : : : 1 5 8 m ²	木造 防火木造を除く 鉄骨・鉄筋 コンクリート造 その他
3 千葉県 山武郡 九十九里町	昭和50年以前(1975年以前) 昭和 平成 令和 西暦 2024年	千 百 + - : : : : m ²	木造 防火木造を除く 鉄骨・鉄筋 コンクリート造 その他

(持ち家の世帯)

(17) 土地の所有関係

● 所有地
○ 無償の借地
○ 有償の借地

・現住居の敷地の所有関係について記入してください。

(18) 住居の敷地面積

・坪を㎡に換算するときは3.3倍してください。

千 百 + -
: : : 6 3 m²

(19) 住居の建築時期

・西暦は、4桁で記入してください。

○ 昭和50年以前(1975年以前)
○ 昭和
● 平成
○ 令和
○ 西暦
○ 2024年

1 8 年

二人以上の世帯及び「(12)単身世帯の形態」で「その他」を選択した単身世帯の方は、(20)欄及び(21)欄も記入してください。

「(12)単身世帯の形態」で「単身赴任・出稼ぎ」を選択した単身世帯の方は、(20)欄、(21)欄は記入せず、(22)欄を記入してください。

(21) 現居住地以外の土地

(21) 現居住地以外の土地(住宅用)をあなた又はあなたの家族名義で所有していますか(法人名義は除きます)

● 所有している ○ 所有していない

山林・農地等でも住宅を建てる目的で所有している場合は、記入してください。

所在地	敷地面積
1 東京都 新宿区	千 百 + - : : : 1 4 1 m ²
2 北海道 帯広市	千 百 + - : : : 1 7 2 m ²
3 千葉県 山武郡 九十九里町	千 百 + - : : : 1 5 5 m ²

(17) 土地の所有関係

- 現住居の敷地の所有関係について記入してください。

(18) 住居の敷地面積

- 区分所有分がわからない場合は、建物全体の敷地面積(駐車場や庭を含む)を総住宅数で割った数値を記入してください。
- 農家で敷地と畑などが地続きとなっている場合は、住宅部分のみの敷地面積を記入してください。

(19) 住居の建築時期

- 住居の半分以上を増改築した場合は、その増改築の時期を記入してください。

(21) 現居住地以外の土地

- 山林・原野・農地等を所有していて、その一部を住宅建設の目的で所有している場合、「敷地面積」には住宅を建てる目的で所有している部分のみの面積を記入してください。
- 賃貸用アパートなどを建てている敷地に、住人用の駐車場がある場合は、駐車場を含めた敷地面積を記入してください。

【所在地の記入例】

	都道府県	市郡	区町村
特別区	東京都		新宿区
政令指定都市	神奈川県	横浜市	緑区
市(上記以外の市)	北海道	帯広市	
郡部(町村)	千葉県	山武郡	九十九里町



Q (20)欄及び(21)欄の「あなたの家族」には、別生計の家族なども含まれるの?

A 別生計の家族は含みません。非同居であっても、同一生計の家族の場合には含みます。(単身赴任中の配偶者など)

毎月の家賃支払額、毎月の住宅ローンの返済額について(第2面)

(22) 月々支払っている家賃及び住宅ローン

- ・家賃と住宅ローンとで分けて月々の支払額を記入してください。
- ・月20万円未満の場合は数字を記入してください。月20万円以上の場合は「月20万円以上」の○をぬりつぶしてください。
- ・事業などのための家賃の支払や住宅ローンの返済については、含めないでください。

① 家賃の支払

※共益費・管理費は含めないでください。

○あり → 月 万円 又は ○月20万円以上
●なし

② 住宅ローンの支払

○あり → 月 7 万円 又は ○月20万円以上
●なし

(22) 月々支払っている家賃及び住宅ローン

- 月20万円未満の場合は支払額を、千の位を四捨五入して、1万円単位で記入してください。
- 月20万円以上の場合は「月20万円以上」の○をマークしてください。
- 該当しない項目は、「なし」にマークし、金額欄は空欄のままとしてください。
- ボーナス月の支払額などを記入する必要はありません。

「(7) 仕事の種類」の記入のしかた(第1面)

(7)と(8)は、**世帯主の仕事について記入**してください。
非就業の場合は「(9) 要介護・要支援認定の状況」へ

(7) 仕事の種類
・世帯主が実際にしているおこな仕事の内容を、『世帯主の記入のしかた』を参考に詳しく記入してください。

美容師

- 勤め先、あるいは自営事業で、世帯主本人が実際にしている主な仕事の内容を記入してください。
- 調理・製造・修理などの技術的・技能的な仕事のほか、経営・販売などの仕事もしている人は、技術的・技能的な仕事の方を記入してください。
- 仕事の内容を十分に言い表す職名がある場合は、例えば、「コック長」、「薬剤師」のように、その職名を記入してください。
- 内職を本業としている人、家事使用人及び営業上の使用人は、その仕事の内容を記入してください。

「(7) 仕事の種類」の記入例

事業の経営や管理的な仕事			
記入例	会社社長 工場経営者	総務課長 協会理事	

技術的または専門的な仕事			
記入例	インテリアデザイナー マッサージ師 特別支援学校教員 弁護士 プログラマー 保育士	電気機械技術者 歯科医師 小学校教員 ケアマネージャー 薬剤師 テニススクールコーチ	土木技術者 看護師 学習塾教師 舞踊家 測量士 宗教家

事務的な仕事			
記入例	経理事務員 貯金窓口事務員	データ入力係員 電気メータ検針員	パソコン操作員 駅務員

商品の仕入れ・販売の仕事			
記入例	小売店主 自動車のセールス	コンビニエンスストア 販売員 保険外交員	販売店員 化粧品訪問販売員 証券仲買人

調理・接客・サービスの仕事			
記入例	看護助手 飲食店主	理容師 レストランの調理師	ホテルフロント係員 電話オペレーター レンタカー カウンター係員

保安の仕事			
記入例	自衛官 税関監視官	警察官 建設現場誘導員	消防吏員 警備員

水産物の採取や養殖の作業			
記入例	漁労長 真珠の養殖	漁労船船長 海藻の採取人	さし網漁師 水族館飼育係

金属製品以外の製造・加工作業			
記入例	医薬品製造工 プラスチック原料 製造工	ゴム加硫工 合成洗剤製造工	写真製版工 婦人・子供服 仕立工

機械の整備・修理作業			
記入例	自動車整備工 時計修理工	事務用機械修理工 機械分解工	航空機修理工 電車修理工

機械の検査作業			
記入例	電気機械部品 検査工 定置機関検査工	自動車検査工 工作機械検査工	航空工場検査員 鉄道検車手

電車・自動車・船舶・飛行機などの運転・操縦、機械運転の仕事			
記入例	貨物船機関長 クレーン運転士 ロードローラの 運転士	トラック運転手 航空機操縦士 バスガイド	ボイラー・ オペレータ 電車運転士 旅客船機関士

鉱物の採掘・採取などの作業			
記入例	石切出作者 支柱員	砂利採取人 坑内運搬員	トンネル掘進員 鉱山発破員

家事サービスなどの仕事			
記入例	家事手伝い ホームヘルパー	ベビーシッター 訪問介護員	家政婦(夫) ハウスメイド

農畜産物・林産物の育成採取などの作業			
記入例	しいたけ栽培 育林作業 立木の伐採	乳牛飼育者 山林監視人 もやし製造	養鶏人 植木職 造園師

金属製品の製造・加工作業			
記入例	精鋼工 アルミニウム 鋳物工	金属熱処理工 板金設備 オペレータ	金属圧延作業工 アーク溶接工

機械器具の組み立て作業			
記入例	自動車エンジン 組立工 時計調整工	光ファイバー ケーブル製造工 光学機械器具 組立工	輸送機械組立 オペレータ 測量機械製造工

製品の検査作業			
記入例	木材検査工 溶接検査工	製品検査工 陶磁器検査工	プラスチック製品 検査工 製本検査工

塗装や写真現像などの生産に関連したまたは類似する技能的な仕事			
記入例	吹付塗装工 製図工	CADオペレータ 製図工	映写技師 機械製図工

建設・土木作業・電気工事の仕事			
記入例	大工 左官見習い	屋内電気工事人 土木作業員	水道配管工 鉄道保線作業員

運搬・清掃・包装などの作業			
記入例	新聞配達員 宅配便配達員 包装工	ビルの清掃人 倉庫作業員 ピッキング作業員	荷造り作業員 郵便外務員